

ダイナミックIPアップデータクライアントでのUmbrellaローミングクライアントの使用

内容

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[概要](#)

[説明](#)

[1台のマシンへの両方のクライアントのインストール](#)

はじめに

このドキュメントでは、ダイナミックIPアップデータクライアントでUmbrellaローミングクライアントを使用する方法について説明します。

前提条件

要件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、Umbrellaローミングクライアントに基づくものです。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな（デフォルト）設定で作業を開始しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

概要

ダイナミックIPアップデータクライアントは、Umbrellaダッシュボード内のネットワークIP情報を最新の状態に保ち、ネットワークを保護します。[Umbrella Roamingクライアント](#)は、WindowsまたはMac OSXを実行する各デバイスにインストールされるソフトウェアで、Umbrellaのセキュリティとポリシーベースの保護をどこからでも実現できます。

説明

Dynamic IP Updaterクライアントの理想的な用途は、マシン（できればネットワーク上で毎日

24時間365日稼働しているデスクトップ)にインストールすることです。これにより、IPアドレスが変更されると、ダッシュボードも更新されるため、ネットワークを保護し、作成したポリシーを適用できます。

一方、Umbrella Roaming Clientの理想的な使用法は、ネットワークからローミングまたは離脱するラップトップにインストールすることです。これにより、これらのラップトップがネットワークから離脱しても、適切なUmbrellaセキュリティポリシーによって確実に保護されます。

1台のマシンへの両方のクライアントのインストール

この時点で、ラップトップが1台だけで、両方のクライアントをインストールする必要がある場合に何が起こるかについて考えました。両方のクライアントで異なる処理が行われるため、1台のマシンに確実にインストールできます。

ダイナミックIPアップデートクライアントに関して留意する必要があるのは、「アップデート」を無効にせずに別のネットワークに切り替えると、ダッシュボード上のネットワークを現在のネットワークに更新できることです。この問題が発生しないようにするには、アップデートクライアントを「無効」にする必要があります。このため、Umbrellaでは通常、このコンピュータがネットワークから頻繁に離れる場合、同じコンピュータにアップデートとローミングクライアントの両方をインストールすることは推奨しません。

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。